

キーワード検索と 研究室の混雑状況

グループ2

目次

- 目的
- システムの内容
- 対象者
- 田中次郎の行動

目的

- オープンキャンパス参加者の中には、大学や研究内容について知らずに来る参加者がおり、そうした受験者などはオープンキャンパス参加時に学内のどこを回ればよいかなどが分からない。



- そこで、ある程度のキーワードを表示し、そのキーワードから興味ある情報を選択させ、興味のある情報を提供できる場所の提示を行う。
- これにより、オープンキャンパス参加者が快適に各研究室の情報を収集できる。

システムの内容

- Webブラウザ上にいくつかのキーワードを表示



- キーワードからさらに詳細なキーワードを表示



- その詳細なキーワードから各研究室などの情報を提示



- その場所の混雑情報も併せて提示

対象者

- 田中次郎 高校2年生 17歳
- 高知県内に住んでいる.
- 趣味:ゲーム, 野球 (阪神ファン, 小2から始める)
- 大学のことをあまり知らない.
- 親に勧められ, 高知工科大学のオープンキャンパスに参加
- JR→シャトルバスで参加

田中次郎の行動

- シャトルバスの中でQRコード発見
- そのQRコードからWebページにアクセスし, 簡単なキーワード(野球, ゲーム)から研究室や部室などの場所を知る.
- さらにその場所の混雑状況なども把握することができ, 混雑を回避しながら快適に情報の収集が可能になった!